

高校公民プリント（過去問類似）  
公共、倫理（2025年～の共通テスト本試験）  
No.6

名前

得点

/10

問1 人間の精神発達や心理に関する記述として、文化的な差異や個人の経験を超えて、人類に共通して備わっているとされる、生物学的に基礎づけられた喜びや恐れ、怒りなどの心の動きを何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 二次感情                      2. 複雑感情                      3. 混合感情                      4. 基本感情

問2 情報通信技術（ICT）の発展に伴い、従来の対面による議論だけでなく、オンラインでの意見表明や投票など、非対面的な関わり方を組み合わせた意思決定の仕組みが模索されている。このように、情報技術を活用して市民の政治参加や合意形成を促進しようとする民主主義の形態を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 間接民主主義                      2. 直接民主主義                      3. 電子民主主義                      4. 代表民主主義

問3 アテネの市民たちに対し、金銭や名誉を求めることよりも、自己の魂をできるだけ優れたものにすること（魂への配慮）を促し、人間にとって最も大切なことは「よく生きること」であると説いた、古代ギリシアの哲学者は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ソクラテス                      2. プラトン                      3. エピクロス                      4. ピタゴラス

問4 ドイツの実存主義哲学において、死や苦しみ、争いといった、人間の力では避けることも変えることもできない「限界状況」を契機として、自己の有限性を自覚した人間同士が、支配や従属の関係を排し、互いの尊厳をかけて誠実に対話し高め合う関係を何と呼ぶか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 実存的交わり                      2. 死に至る病                      3. カへの意志                      4. 死への存在

問5 ドイツの思想家ベンヤミンは、写真や映画などの複製技術の発展に伴う芸術の変容を論じた。彼が、複製技術の普及によって失われると指摘した、芸術作品が「いま・ここ」に存在することに由来する、唯一無二の神秘的な輝きや一回性のことを何と呼ぶか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. モード                      2. コピー                      3. アウラ                      4. コード

問6 万物に内在する普遍的な「理」と人間の本性を同一視する「性即理」を唱え、私欲を去って個々の事物の理を極めることで天命を知るとする修養論を体系化し、のちの東アジアの政治・社会秩序に大きな影響を与えた宋代の儒学者は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 朱熹                      2. 荀子                      3. 孔子                      4. 孟子

問7 平安中期の日本では、末法思想の到来とともに、阿弥陀仏の救いを求める浄土信仰が盛んになった。この時期に、地獄と極楽の様相を対比的に描き出し、仏の姿や極楽を心に思い描く「観想念仏」を重視して、のちの鎌倉仏教の先駆となった僧侶は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 空也                      2. 源信                      3. 空海                      4. 最澄

問8 江戸時代、赤穂浪士による討ち入り（赤穂事件）の処分をめぐり、浪士たちの行動を「私的な義」として評価しつつも、幕府の「公的な法」を維持するために彼らを処罰（切腹）すべきであると主張し、政治における法の優位性を説いた儒学者は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 山鹿素行                      2. 荻生徂徠                      3. 新井白石                      4. 伊藤仁斎

問9 フランスの実存主義哲学者サルトルは、人間は「自由の刑に処せられている」とし、自らの選択に全責任を負わなければならないとした。この思想に基づき、自らの選択を通じて、主体的に社会や歴史の現実に関与し、責任ある行動をとることを何と呼ぶか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ニヒリズム                      2. エグジスタンス                      3. アンガジュマン                      4. ルサンチマン

問10 1995年に発生した阪神・淡路大震災では、全国から多くの市民が自主的に被災地へ赴き、救護や復興の支援活動を行った。この出来事を契機に、市民による自主的な社会貢献活動への認知と参加が日本社会で飛躍的に進んだことから、この年は一般に何と呼ばれるか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ボランティア活動                      2. ボランティア団体                      3. ボランティア休暇                      4. ボランティア元年

## 答え合わせ・解説 No.6

問1	<b>答え 4</b> 基本感情	文化や個人を問わず、人類に普遍的に見られる生物学的に基礎づけられた感情を指す。これには喜び、恐れ、怒り、悲しみ、驚き、嫌悪などが含まれ、表情の表出などにおいても文化を超えた共通性があることが実証されている。これに対し、嫉妬や罪悪感などは他者との関係性や社会的・文化的文脈の中で学習される社会的感情に分類される。
問2	<b>答え 3</b> 電子民主主義	情報通信技術（ICT）の普及により、時間や場所の制約を超えて市民が公共的な議論に参加することが可能となった。これにより、対面での集会だけでなく、インターネットを通じた非対面的な関わりを組み合わせることで、より広範な合意形成を目指す試みが進められている。
問3	<b>答え 1</b> ソクラテス	魂をできるだけ優れたものにしようと努める「魂への配慮」を説き、単に生きるのではなく「よく生きること」を重んじたのはソクラテスである。彼は、不正に対して不正で返すことは自らの魂を劣悪にする行為であるとして、いかなる場合も不正を行ってはならないと主張した。
問4	<b>答え 1</b> 実存的交わり	ヤスパーズは、死や苦しみ、闘争といった、人間の力では克服できない「限界状況」に直面したとき、人間は自己の有限性を自覚し、超越者（包括者）に出会うと説いた。そして、同じように有限性を自覚した人間同士が、支配や従属なしに、互いの尊厳をかけて誠実に対話し、高め合う関係を「実存的交わり」と呼んだ。これは、互いを尊重しつつも妥協せずに真理を追究する「愛しながらの闘い」を通じて実現される。
問5	<b>答え 3</b> アウラ	複製技術の登場によって、オリジナルな芸術作品が持っていた「いま・ここ」にしかない一回性や本物性としての神秘的な輝きが失われると論じられた。この失われる輝きや一回性のことを「アウラ」と呼ぶ。アウラの消滅は、芸術作品の受容のあり方を儀礼的なものから展示的なものへと変化させ、大衆化を促したとされる。
問6	<b>答え 1</b> 朱熹	北宋の儒学を大成した南宋の思想家であり、宇宙の根本原理である「理」と人間の本性を同一視する「性即理」の立場をとった。彼は、個々の事物に即してその理を極める「格物致知」を説き、私欲を克服して聖人に近づくことを目指した。
問7	<b>答え 2</b> 源信	平安中期の僧である源信は、著書『往生要集』において「厭離穢土・欣求浄土」を説き、極楽往生の手立てとして阿弥陀仏の姿や極楽を心に思い描く「観想念仏」を重視した。これはのちに口称念仏（専修念仏）を唱える法然らに大きな影響を与えた。
問8	<b>答え 2</b> 荻生徂徠	赤穂浪士の仇討ち（赤穂事件）の処分をめぐることは、当時の知識人の中で激しい論争が起こった。この人物は、浪士たちの忠義を「私的な義」として認めつつも、幕府の許可なく徒党を組んで騒動を起こしたことは「公的な法」に違反するとし、天下の法を維持するために切腹に処すべきだと主張した。これは、道徳（義）よりも政治や法（制度）を重視する彼の思想を象徴する出来事である。
問9	<b>答え 3</b> アンガジュマン	サルトルは、人間は本質に先立って実存しており、自らのあり方を自由に選択する存在であるとした。そして、その自由には全人類に対する重い責任が伴うとし、自らを社会や歴史の状況に主体的に拘束・関与させること（アンガジュマン、社会参加）を説いた。
問10	<b>答え 4</b> ボランティア元年	1995年の阪神・淡路大震災において、延べ100万人を超える市民が自主的に被災地支援に駆けつけた。この出来事は、日本において市民による自主的な社会貢献活動が広く定着する契機となり、同年に特定非営利活動（NPO）への関心が高まるなど、市民社会の形成に大きな影響を与えた。このことから、1995年は「ボランティア元年」と称されている。

高校公民プリント（過去問類似）  
公共、倫理（2025年～の共通テスト本試験）  
No.7

名前

得点

/9

問1 功利主義の立場において、ベンサムが法律や世論といった外部からの強制力を重視したのに対し、その修正を試みた思想家は、他者への同情や共感といった社会的情感情に根ざす、自己の良心の痛みによる強制力を重視した。この強制力を何と呼ぶか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 物理的制裁                      2. 道徳的制裁                      3. 外面的制裁                      4. 内面的制裁

問2 高度経済成長期における公害問題や開発による自然破壊の深刻化を背景に、良好な自然や景観を享受する権利として主張されるようになった。日本国憲法に明文の規定はないが、第13条の幸福追求権や第25条の生存権を法的な根拠として導き出されている、新しい人権の代表例とされる権利は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 環境権                              2. 日照権                              3. 嫌煙権                              4. 肖像権

問3 「自然という書物は数学の言葉で書かれている」と考え、スコラ学的な目的論的自然観を排し、実験と観察に基づく定量的アプローチによって自然現象を数式による因果法則として解明しようとした、17世紀の科学革命を牽引したイタリアの思想家は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. デカルト                              2. ガリレイ                              3. ケプラー                              4. パスカル

問4 イスラームにおいて、唯一神アッラーや預言者などの具象的な姿を描くことが厳格に禁じられた結果、モスクなどの礼拝所を飾るために発達した、植物の茎や葉、幾何学模様などをモチーフにした複雑な装飾文様を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. アラベスク                              2. ムカルナス                              3. モザイク                              4. ミニチュール

問5 平安中期、末法思想の広がりを背景に、穢れた現世を嫌って離れ、極楽浄土への往生を希求する「厭離穢土・欣求浄土」の思想が流行した。この思想を体系化し、地獄の恐ろしさや極楽の様相を具体的に描き出すとともに、仏の姿を心に思い描く修行法を説いて、のちの浄土信仰に決定的な影響を与えた、僧の源信が著した書物は何か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 三教指帰                              2. 三宝絵詞                              3. 十住心論                              4. 往生要集

問6 政治学者・思想史家の丸山真男は、日本の思想史において、儒教や仏教、近代の西洋思想など、外来の様々な思想が互いに対決したり体系的に統合されたりすることなく、ただ並列的に共存している状況を批判的に分析した。このような日本の思想的状況を表現した、彼の言葉は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 雑居                                      2. 超克                                      3. 雑種                                      4. 国体

問7 近代の理性が自然や人間を支配するための手段（道具的理性）に変質したことを批判したドイツの哲学者が、これに対抗するものとして提唱した、人々が対等な立場で自由に議論を交わし、共通の理解に基づいて合意を形成するために発揮されるべき相互理解を目指す理性を何と呼ぶか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 主観的理性                              2. 対話的理性                              3. 批判的理性                              4. 道具的理性

問8 日本の公的扶助の代表例であり、資産や所得の調査といった一定の要件を満たす困窮者に対し、憲法第25条の理念に基づいて健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長することを目的とする制度は何か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 医療保険                              2. 生活保護                              3. 介護保険                              4. 年金保険

問9 人間の感情の発生プロセスについて、身体的な興奮などの生理的な変化が生じることと、その変化がなぜ起こったのかを周囲の状況などから推測して意味づけを行うことの、二つの要素が合わさることで特定の感情が成立すると説明する心理学の理論を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 感情の中核起源説                              2. 感情の二要因理論                              3. 感情の認知評価説                              4. 感情の末梢起源説

## 答え合わせ・解説 No.7

問1	<b>答え 4</b> 内面的制裁	ベンサムは物理的・政治的・道徳的（世論）・宗教的な4つの「外面的制裁」を重視したが、J. S. ミルはこれらに加えて、義務に背いたときに心の中に生じる痛みや良心の呵責である「内面的制裁」を、道徳的行為を促す究極の強制力として重視した。
問2	<b>答え 1</b> 環境権	高度経済成長期に深刻化した公害や自然破壊に対抗するため、良好な自然や景観を享受する権利として主張されるようになった。日本国憲法に直接の明文規定はないが、個人の尊重と幸福追求権を定めた第13条や、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利（生存権）を定めた第25条を根拠として法的に構成されている。
問3	<b>答え 2</b> ガリレイ	自然現象を目的論的に解釈する中世のアリストテレスの自然観に対し、実験と観察を通じて数学的な法則性を導き出す機械論的自然観を提示した。著書『天文対話』においてコペルニクスの地動説を擁護し、近代自然科学の基礎を築いたが、教会から異端として宗教裁判にかけられた。
問4	<b>答え 1</b> アラベスク	イスラームでは偶像崇拝が厳格に禁止されているため、キリスト教の聖画や仏教の仏像のような神仏の具象表現が発達しなかった。その代わりに、無限に広がる神の創造性を象徴するものとして、幾何学模様や植物文様、アラビア文字を組み合わせたアラベスクと呼ばれる独自の装飾美術が高度に発達した。
問5	<b>答え 4</b> 往生要集	源信は『往生要集』を著し、地獄の恐ろしさと極楽の素晴らしさを対比させて「厭離穢土・欣求浄土」を説いた。彼は臨終の際に阿弥陀仏が迎えに来る来迎を信じ、仏の姿を心に思い描く「観想念仏」を重視した。のちの法然による専修念仏（口称念仏）へとつながる浄土信仰の基礎を築いた。
問6	<b>答え 1</b> 雑居	外来の思想が歴史的に蓄積・体系化されず、新旧の思想がただ並列的に共存している状態を指す。丸山真男はこれを日本の思想的土壌の弱点として批判的に分析した。なお、加藤周一はこれに類する状況を「雑種文化」として肯定的に評価している。
問7	<b>答え 2</b> 対話的理性	近代の理性が効率性や自己保存の手段となる「道具的理性」に陥ったのに対し、他者との対等なコミュニケーションを通じて合意形成を図るための理性が提唱された。これは、市民が自由に議論を行う「公共空間」を再建するための基盤とされる。
問8	<b>答え 2</b> 生活保護	公的扶助の代表例であるこの制度は、生活に困窮する人々に対して、その困窮の程度に応じた給付を行い、最低限度の生活を保障するとともに自立を促すものである。支給にあたっては、資産や労働能力の活用といった要件を満たしているかどうかの調査（ミーンズテスト）が行われる。
問9	<b>答え 2</b> 感情の二要因理論	生理的覚醒（身体反応の変化）と、その覚醒の原因に対する認知的解釈（ラベル付け）の二つの要因によって感情が成立すると考える理論である。シャクターとシンガーによる実験では、生理的変化の原因が説明されていない被験者ほど、周囲の状況（サクラの態度など）に合わせて自身の感情を解釈する傾向が示された。

高校公民プリント（過去問類似）  
公共、倫理（2025年～の共通テスト本試験）  
No.8

名前

得点

/10

問1 日本社会において、人々は季節の移り変わりや生活の節目において、様々な慣習や儀礼を行ってきた。誕生や成人、結婚などのように、個人の生涯における節目の段階ごとに行われる儀礼とは異なり、毎年特定の時期に繰り返され、共同体の連帯感を高めたり季節感を確認したりする、初詣や節分、お彼岸などの伝統的な慣習や行事を何と呼ぶか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 祖先崇拜                      2. 年中行事                      3. 冠婚葬祭                      4. 通過儀礼

問2 キリスト教的な同情や平等を重んじる既成の道徳を、弱者が強者に対して抱く怨恨から生じた「奴隷道徳」とであると批判し、人間本来の生命力や「カへの意志」に基づく生の肯定を説いた、19世紀後半のドイツの哲学者は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ニーチェ                      2. ヤスパース                      3. マルセル                      4. サルトル

問3 アメリカの生態学者によって提唱された、人間を自然の征服者ではなく、土壌や水、動植物からなる生態系という共同体の一員と位置づけ、それら全体を道徳的配慮の対象とする環境倫理思想を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 環境正義                      2. 生命倫理                      3. 土地倫理                      4. 地球倫理

問4 ドイツ出身の医師・神学者であるシュヴァイツァーが提唱した、自己の存在を維持しようとする意志と同様に、他者や他の生物も「生きようとするもの」と考え、あらゆる存在に対して愛と尊敬を抱き、それを尊ぶことを人間の根源的な責任とする倫理思想を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 自然の権利                      2. 人間中心主義                      3. 責任の原理                      4. 生命への畏敬

問5 「ソクラテスは死んだ」「プラトンは死んだ」「アリストテレスは死んだ」という個別の事実の観察から、「すべての人間は死ぬ」という一般的な法則を導き出すような、経験的な事例に基づき一般的な結論を得る推論方法を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 懐疑法                      2. 演繹法                      3. 弁証法                      4. 帰納法

問6 実験と観察を重視し、自然現象を数式による因果法則として解明しようとしたイタリアの科学者が、地動説を擁護したことで宗教裁判にかけられる契機となった、1632年に刊行された名著は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 方法序説                      2. 天文対話                      3. 哲学書簡                      4. 統治二論

問7 14世紀から16世紀にかけてのヨーロッパでは、中世の神中心の価値観から脱却し、古典古代の文化を手がかりに、人間のありのままの姿や現実世界の美しさを肯定しようとする文芸・芸術上の革新運動が起こった。この運動の根底にあり、人間の尊厳や個性を重んじる人間中心の精神を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. プラトニズム                      2. ネオプラトニズム                      3. マキャベリズム                      4. ヒューマニズム

問8 人為的な道徳や社会的規範を否定し、宇宙の根源である「道（タオ）」に従って生きる「無為自然」を理想とした思想において、美と醜のような価値判断は、一方が存在することでもう一方が規定される相対的かつ逆説的な関係にすぎないと批判される。このような思想を展開した、中国古代の諸子百家の一派は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 道家                      2. 法家                      3. 儒家                      4. 墨家

問9 平安中期の日本では、末法思想の到来とともに、阿弥陀仏の救いを求める浄土信仰が盛んになった。この時期に、地獄と極楽の様相を対比的に描き出し、仏の姿や極楽を心に思い描く「観想念仏」を重視して、のちの鎌倉仏教の先駆となった僧侶は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 空也                      2. 源信                      3. 空海                      4. 最澄

問10 人間は自然の征服者ではなく、土壌、水、植物、動物からなる生物共同体の一員にすぎないとし、それら全体を道徳的配慮の対象とする倫理思想を著書『野生のうたが聞こえる』などで提唱した、アメリカの森林官・生態学者は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ボール・テイラー                      2. レイチェル・カーソン                      3. アルド・レオポルド                      4. ピーター・シンガー

## 答え合わせ・解説 No.8

問1	答え 2 年中行事	毎年特定の時期に繰り返される初詣や節分、お彼岸などの伝統的な行事は年中行事と呼ばれる。これに対し、誕生、成人、結婚、葬儀など、個人の生涯の節目（ライフステージの移行期）に行われる儀礼は通過儀礼（イニシエーション）と呼ばれ、両者は日本の伝統的な生活文化において区別される。
問2	答え 1 ニーチェ	キリスト教的な道徳を弱者の怨恨（ルサンチマン）に由来する「奴隷道徳」として批判し、神の死を宣告して、自らの価値を自ら創造する「超人」や「カへの意志」による生の肯定を主張した。
問3	答え 3 土地倫理	アルド・レオポルドが提唱したこの思想は、人間を生物共同体の一メンバーとして位置づけ、土地（土壌、水、植物、動物）全体に対する道徳的責任を説くものである。経済的価値だけでなく、生態系全体の健全性や美、安定性を維持することを重視する。
問4	答え 4 生命への畏敬	シュヴァイツァーは、自己の生命を維持しようとする意志と同様に、他者や他の生物も「生きようとする生命」を持っていると考えた。このすべての生命に対して愛と尊敬を抱き、それを尊ぶことを「生命への畏敬」と呼び、人間の根源的な責任であると主張した。
問5	答え 4 帰納法	個別の具体的な事実や経験から、それらに共通する一般的な法則や結論を導き出す推論方法は帰納法と呼ばれる。前提となる個別の事実が正しくとも、導き出される結論が常に100%確実とは限らないという特徴（不確実性）を持つ。一方、一般的な前提から三段論法などを用いて論理的に個別の結論を導く方法は演繹法と呼ばれる。
問6	答え 2 天文対話	コペルニクスの地動説（太陽中心説）とプトレマイオスの天動説（地球中心説）について、登場人物たちの対話形式で論じた著作である。著者は実験と観察に基づく定量的アプローチを重視し、近代自然科学の基礎を築いたが、本書の出版によりカトリック教会から異端審問にかけられ、地動説の撤回を求められた。
問7	答え 4 ヒューマニズム	14世紀からイタリアを中心に始まったルネサンスの根底には、中世の神中心・教会中心の権威主義的な人間観から脱却し、ギリシア・ローマの古典古代の文化を手がかりにして、人間らしい生き方や個性の自由な開花を求めようとする精神があった。この人間中心の精神はヒューマニズム（人文主義）と呼ばれる。芸術分野においても、遠近法などを用いて現実世界や人間の肉体の美しさをありのままに表現する試みがなされた。
問8	答え 1 道家	人為的な価値判断や儒家の説く道徳を否定し、あるがままの自然な生き方を重視した学派である。美と醜、善と悪などの対立する概念は、人間が勝手に作り出した相対的なものにすぎず、互いに依存し合って生じる逆説的な関係にあると捉えた。
問9	答え 2 源信	平安中期の僧である源信は、著書『往生要集』において「厭離穢土・欣求浄土」を説き、極楽往生の手立てとして阿弥陀仏の姿や極楽を心に思い描く「観想念仏」を重視した。これはのちに口称念仏（専修念仏）を唱える法然らに大きな影響を与えた。
問10	答え 3 アルド・レオポルド	『野生のうたが聞こえる（砂郡の暦）』の著者であり、従来人間中心主義的な自然観を批判し、生態系全体（土地）に道徳的価値を認める「土地倫理」を提唱した。これはディープ・エコロジーなど、後の環境倫理思想に大きな影響を与えた。

高校公民プリント（過去問類似）  
公共、倫理（2025年～の共通テスト本試験）  
No.9

名前

得点

/10

問1 現代アートにおいて、従来の彫刻や絵画のように作家自らが手を加えて美的な調和を作り出すのではなく、既製品をそのまま、あるいはわずかな加工のみで展示空間に置くことで、視覚的な美しさがなくとも鑑賞者の思考を刺激し、心を動かすことができるとした芸術上の概念を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ボディ・アート                      2. レディ・メイド                      3. ポップ・アート                      4. ランド・アート

問2 古代ギリシアのヘレニズム時代に起源を持ち、国家や民族といった従来の枠組みにとらわれず、全人類を同じ同胞として捉えて互いに配慮し合うべきだとする、世界市民主義とも訳される倫理思想を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. エピキュリアニズム                      2. スケプティシズム                      3. ストイシズム                      4. コスモポリタニズム

問3 日本の国税のうち、個人の所得に対して課され、課税対象額が大きくなるほど高い税率が適用される、所得再分配機能の中心的な役割を担う直接税は何か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 所得税                      2. 法人税                      3. 贈与税                      4. 相続税

問4 ある国において、1年間にその国の領域内で新たに生み出された財やサービスの付加価値の合計額であり、その国の経済活動の規模を測る代表的な指標を何というか。なお、この指標の算出にあたっては、原材料や燃料などの他企業から購入した中間生産物の価額は差し引かれる。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 国内純生産                      2. 国内総生産                      3. 国民純生産                      4. 国民総生産

問5 心理学の実験において、曖昧な図形を見せる際、同時に特定の言葉を提示すると、後にその図形を再現させたときに、提示された言葉のイメージに近づくように図形が歪んで再現される現象がある。これは、すでに長期記憶にある知識が、新しい情報を脳内に取り込んで登録するプロセスに影響を与えることで生じる。この、新しい情報を登録するプロセスを何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 想起                      2. 貯蔵                      3. 記録                      4. 保持

問6 イギリスの哲学者は、理性は情念の奴隷にすぎず、道徳的な善悪の判断は理性ではなく感情に基づくと主張した。彼が道徳の基礎として重視した、他者の快楽や苦痛を自らのものとして分かち合う心の働きを何と呼ぶか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 共感                      2. 感性                      3. 理性                      4. 情念

問7 精神分析の創始者によって提唱された精神の構造において、親の命令や社会的な規範が内面化された領域を何というか。これは、無意識のうちに原始的な衝動を抑圧し、道徳的な良心として機能するとともに、規範に反した際には罪責感を生じさせて行動を制御する役割を持つ。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 超自我                      2. 無意識                      3. 合理化                      4. 前意識

問8 ニーチェがキリスト教的道徳を批判する際に用いた概念で、弱者が強者に対して抱く、嫉妬や憎悪が入り混じった怨恨の感情を何と呼ぶか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. アンガージュマン                      2. ルサンチマン                      3. ニヒリズム                      4. エクリチュール

問9 ある中国戦国時代の儒家は、人間の本性は善であり、誰も他者の苦しみを見過ごせない同情心などの道徳的萌芽を備えていると主張した。この思想家が唱え、内面的な道徳的実践や王道政治の基礎となった、人間の本性に関する学説を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 兼愛説                      2. 性悪説                      3. 非攻説                      4. 性善説

問10 科学技術の発展に伴い、人間がAIに頼らない社会を目指すべきだという慎重論が存在する一方で、現代の政策では、AIやIoTなどの先端技術を駆使して少子高齢化などの社会的課題の解決と経済発展を両立させることが目指されている。このように、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させ、人間中心の豊かな暮らしを実現するために日本政府が提唱している未来社会の構想を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. Society 3.0                      2. Society 5.0                      3. Society 2.0                      4. Society 4.0

## 答え合わせ・解説 No.9

問1	答え 2 レディ・メイド	マルセル・デュシャンが提示したこの概念は、芸術作品が作家の卓越した技術や美的な外見に依存するものであるという伝統的な見方を否定した。既製品を本来の文脈から切り離して展示することで、鑑賞者に新たな意味や問いを投げかけ、思考を揺さぶる現代アートの重要な手法となった。
問2	答え 4 コスモポリタニズム	ヘレニズム時代、ポリス（都市国家）の衰退に伴い、人々は従来のポリス市民としてのアイデンティティを失う一方で、より広い世界に目を向けるようになった。この背景から、国家や民族の境界を越えて、全人類をロゴス（理性）を共有する同胞とみなす世界市民主義の思想が誕生した。これは現代の地球規模の課題に対する倫理的態度の源流ともなっている。
問3	答え 1 所得税	個人の1年間の所得に対して課される直接税であり、納税者の担税力（税を負担する能力）に応じて税率が高くなる超過累進税率が採用されている。これにより、貧富の格差を是正する役割を果たしている。一方、消費税などは税率が一律であるため、低所得者ほど負担割合が大きくなる逆進性がある。
問4	答え 2 国内総生産	一定期間内に国内の生産活動によって生み出された付加価値の総額を示す指標である。二重計算を避けるため、生産額の総計から原材料や燃料などの中間生産物の価額を差し引いて算出される。この指標の増減率は経済成長率として示され、一国の経済規模や景気動向を把握するための最も基本的な統計として用いられている。
問5	答え 3 記銘	提示された言葉のイメージに引きずられて図形の記憶が変容する現象は、新しい情報を脳内に取り込んで登録する「記銘（符号化）」の段階で、長期記憶にある既存の知識が影響を及ぼすために起こる。記憶のプロセスは、この「記銘」、それを維持する「保持（貯蔵）」、思い出す「想起（検索）」から構成されている。
問6	答え 1 共感	人間が他者の感情や境遇を自らのことのように感じ取る心の働きを道徳の基盤に据えた。この感情の共有によって、利己的な個人が社会的な道徳や正義を形成することが可能になると説明した。
問7	答え 1 超自我	フロイトは、人間の精神構造を、本能的な衝動である「エス（イド）」、現実原則に従う「自我（エゴ）」、そして親の命令や社会規範が内面化された「超自我（スーパーエゴ）」の3つに区分した。超自我は、無意識のうちにエスの原始的な衝動を抑圧し、道徳的な良心として機能するとともに、規範に反した際には罪責感を生じさせて行動を制御する。
問8	答え 2 ルサンチマン	弱者が自らの無力を正当化し、強者を悪とみなすために抱く怨恨の感情を指す。この感情から生じる道徳を「奴隷道徳」と呼び、本来の生命力を抑圧するものとして批判した。
問9	答え 4 性善説	孟子が提唱した学説であり、人間は生まれながらにして善なる本性を備えており、それを努力によって発展させることで徳を完成させることができるとする。これに対し、人間の本性を悪（利己的）とし、後天的な「偽（人の作為、すなわち礼）」によって矯正すべきだとしたのが荀子の「性悪説」である。
問10	答え 2 Society 5.0	日本政府が『第5期科学技術基本計画』において提唱した未来社会のビジョンであり、情報社会（Society 4.0）に続く新たな社会の姿を指す。AIやIoT、ロボットなどの先端技術を社会のあらゆる分野に導入することで、少子高齢化や環境問題といった社会的課題の解決と、持続的な経済発展を同時に達成することを目指している。AIへの依存を抑制すべきだという倫理的懸念に対して、技術を積極的に活用して人間中心の社会を構築しようとするアプローチである。

高校公民プリント（過去問類似）  
公共、倫理（2025年～の共通テスト本試験）  
No.10

名前

得点

/9

問1 西洋の近代社会を頂点とする進歩史観や自文化中心主義（エスノセントリズム）を批判し、すべての文化はそれぞれの環境に適応して歴史的に形成されたものであり、独自の価値を有するため、文化の間に優劣や高低は存在しないとする、レヴィ＝ストロースらによって提唱された考え方を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 自由至上主義                      2. 自民族中心主義                      3. 文化相対主義                      4. 文化帝国主義

問2 アメリカの政治学者ジーン・シャープが提唱した、独裁体制に対して武力を使わずに抵抗する手法。市民が自主的な非政府団体を多数組織して社会の自律性を高め、人々の自由な交流や連帯を通じて権力への依存を断ち切ることで、独裁権力を崩壊に導くことができるとした、この抵抗方法を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 非暴力不服従                      2. 市民的不服従                      3. 環境保護運動                      4. 非暴力的闘争

問3 アテネの市民たちに対し、金銭や名誉を求めることよりも、自己の魂をできるだけ優れたものにすること（魂への配慮）を促し、人間にとって最も大切なことは「よく生きること」であると説いた、古代ギリシアの哲学者は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ソクラテス                      2. プラトン                      3. エピクロス                      4. ピタゴラス

問4 孔子が説いた、自らの私欲に打ち勝って、社会規範である「礼」に立ち返ることを意味する、内面的な人間愛である「仁」を実践するためのあり方を表した四字熟語は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 知行合一                      2. 克己復礼                      3. 仁義礼智                      4. 格物致知

問5 近年、脳科学や神経科学が急速に発展し、脳内の活動データを読み取る技術などが実用化されつつある。これに伴い、個人の思考や感情に関わる個人情報のプライバシー保護や、その不当な利用を防ぐためのルール作りなど、新たな倫理的課題を扱う学問分野が注目されている。このような、先端科学技術の進展に伴う脳情報の取り扱いに関する倫理的課題を研究する分野を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 情報倫理学                      2. 環境倫理学                      3. 脳神経倫理                      4. 生命倫理学

問6 『正義論』を著し、功利主義を批判して「公正としての正義」を提唱したアメリカの哲学者は誰か。彼は、無知のヴェールに覆われた原初状態において合意される正義の原理として、社会的・経済的不平等が最も不遇な立場にある人々の状況を最大限に改善する場合にのみ許容されるという原理などを提示した。（2026年 全国公立入試 類似）

1. アレント                      2. ロールズ                      3. サンドル                      4. ノージック

問7 現代社会において、客観的な統計では少年犯罪の件数が減少傾向にあるにもかかわらず、テレビやインターネットで凶悪な少年犯罪が繰り返し報道されることで、多くの人々が「少年犯罪は増加している」と誤って認識してしまう現象がみられる。このように、想起しやすい情報に基づいて発生確率を過大評価してしまう認知バイアスを何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 生存者バイアス                      2. 利用可能性バイアス                      3. 後知恵バイアス                      4. 自己奉仕バイアス

問8 ドイツの思想家マルクスが唱えた唯物史観において、社会の土台となる物質的生産活動や経済体制を「下部構造」と呼ぶのに対し、その上に構築され、下部構造によって規定される政治、法律、宗教、そして文化芸術などの精神活動を指す概念は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 生産関係                      2. 生産様式                      3. 下部構造                      4. 上部構造

問9 災害などの危機的状況に直面した際、生じている異常事態を日常の範囲内の出来事として過小評価し、「自分は大丈夫だ」と思い込んで避難などの適切な行動を遅らせてしまう心理的傾向を何というか。国や自治体には、こうした傾向の影響をできるだけ抑えた判断を促すため、公的な情報の利用を容易にするなどの環境整備が求められている。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 生存者バイアス                      2. 楽観的バイアス                      3. 悲観的バイアス                      4. 正常性バイアス

## 答え合わせ・解説 No.10

問1	<b>答え 3</b> <b>文化相対主義</b>	各文化が独自の歴史や環境の中で形成された固有の価値を持つため、他者の文化を自らの基準で評価し優劣を競うべきではないとする考え方である。これにより、西洋中心的な進歩史観や自文化中心主義が批判され、異文化をその文脈において理解することの重要性が示された。
問2	<b>答え 4</b> <b>非暴力的闘争</b>	ジーン・シャープは、独裁体制に対抗するために武力ではなく非暴力的な手段を用いることを提唱した。市民が自主的な非政府団体を組織して社会的なネットワークを形成し、相互に関心を持ち合うことで、独裁権力に対する社会の抵抗力と自律性を高めることができるとした。
問3	<b>答え 1</b> <b>ソクラテス</b>	魂をできるだけ優れたものにしようと努める「魂への配慮」を説き、単に生きるのではなく「よく生きること」を重んじたのはソクラテスである。彼は、不正に対して不正で返すことは自らの魂を劣悪にする行為であるとして、いかなる場合も不正を行ってはならないと主張した。
問4	<b>答え 2</b> <b>克己復礼</b>	自分のわがままな欲望に打ち勝ち、社会的な規範や儀礼にかなった行動をとることを「克己復礼」と呼ぶ。これは、内面的な愛である「仁」を社会的に実践するための具体的な方法として重視された。
問5	<b>答え 3</b> <b>脳神経倫理</b>	脳科学や神経科学の急速な発展に伴い、脳情報のプライバシー保護やその利用に関する倫理的課題を扱う学問分野として脳神経倫理（ニューロエシックス）が提唱された。脳情報は極めて繊細な個人情報であるため、その収集や活用をめぐるには、国際的な個人情報保護への配慮を重視して慎重な取り扱いを求める立場と、誰もがサービスにアクセスできる権利の保証を重視して国が積極的に関与すべきだとする立場の双方が存在し、議論が続けられている。
問6	<b>答え 2</b> <b>ロールズ</b>	各人が社会的な属性や能力を知らされていない「無知のヴェール」の仮定のもとで、人々が合意するであろう正義の原理を導き出した。その中で、自由の平等な分配を求める第1原理（平等な自由の原理）と、社会的・経済的不平等の是正に関する第2原理（公正な機会均等の原理および格差原理）を提示し、福祉国家的な再分配政策を正当化する理論的基礎を提供した。
問7	<b>答え 2</b> <b>利用可能性バイアス</b>	メディアで頻繁に報道される情報は、人々の記憶に強く残り、思い浮かびやすい状態になる。客観的なデータを確認することなく、この思い出しやすさを基準にして「世の中で頻発している」と誤認する現象は、認知心理学や行動経済学において重要な概念である。
問8	<b>答え 4</b> <b>上部構造</b>	唯物史観において、社会の経済的基盤である下部構造（生産力と生産関係）に対し、その上に成立する政治制度、法律、宗教、哲学、芸術などの精神的・制度的営みは上部構造と呼ばれる。下部構造が上部構造を規定・決定するとされる。
問9	<b>答え 4</b> <b>正常性バイアス</b>	災害時において、危険が迫っているにもかかわらず「大したことはない」と事態を過小評価してしまう心理的傾向を正常性バイアスと呼ぶ。避難行動の遅れを防ぐためには、個人が自身の初期判断の誤りに客観的に気づけるよう、信頼性の高い公的情報へ迅速にアクセスできる環境を整えることが重要である。